

NPO法人

全日本語りネットワーク

2017. 4. 8 発行

〒376-0006 群馬県桐生市新宿 1-4-33
(Fax) 0277-43-8225 (振替) 00130-2-114808
(E-mail) welcome@japankatarinet.jp
(HP) http://japankatarinet.jp/

ニュース



新緑！ 伊豆での総会へお越してください！

全日本語りネットワーク理事 上原佐恵子

「第13回全日本語りの祭り in 松江」が終了してから半年以上が過ぎました。初参加した伊豆の仲間は「素晴らしい語りを聴き放題の3日間、最高に楽しかった、それにしても理事の皆さんは大変ですね～」と会うたびにくり返します。確かに？その通りかもしれません。2004年「第7回 in 修善寺」の時、私は当地実行委員長として無我夢中で走りまわった記憶があります。が、その後の祭りは一般参加でゆったりと楽しむことが出来ました。

数年前に理事に、との声掛けをいただき、お手伝いをするようになってからは1年間があっという間に過ぎていく感があります。ひとつ大きな山に向けて準備する、越える、反省する。また次の山が来る、準備する、越える。新たな企画もする。会員さんたちにニュースを発行し全国へ発信すること、財政管理等々です。不慣れな私は、先輩理事さんたちの後を一生懸命、就いていくだけで精一杯です。けれども、就いていくことが嬉しいのです。せっせと山越えした後は全国からの参加者の笑顔が待っているのですから…。

嬉しいことは続きます。なんと、5月20日の総会を伊豆で行うことになりました。

「東京での総会にこだわらなくてもよいのでは」「祭りも毎回、場所変えているのだもの」

「伊豆の皆さんにも参加していただければ」「温泉付きならば参加者が増えるかもしれない」

「翌日、理事たちで伊豆の子どもたちの前で公演しましょう」

…嬉しさがどんどん膨らんでいきます。

会員みなさん、伊豆の美しい春を満喫してください、温泉に入ってください。総会後の「あと語りの会」も聴いてください、語ってください。(詳細2ページ参照)

もちろん本題は総会です。「今まで総会参加したことがないけれど、実は…」など、ご意見を聞かせてほしいのです。前回の「第13回全日本語りの祭り in 松江」をふまえた上で、来年の「第14回全日本語りの祭り in 那須高原」が議題の中心になるかと考えます。さらに今年度は隔年の本祭りの間に「南三陸町」でテラブレーションを実行するべく動き始めております。「復興応援」をNPO法人全日本語りネットワーク会員みんなで継続させていこう！という趣旨です。冒頭の松江の祭り初参加の方は「総会 in 伊豆」出席はもちろん、まわりの仲間に会員になってもらい、出席の声掛けする、と張り切っています。

繰り返します。こうした意見や希望を反映し、会員みんなで共有する場が「総会」です。

「緑濃き伊豆で、熱き語り仲間たちによる、楽しい参加型総会」

になるよう、お申込みを待っております。

